

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年1月19日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年1月19日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【JAEA※放射性物質分析・研究施設第2棟 実施計画申請書類における記載誤りについて】 JAEA職員が、原子力規制委員会に提出した放射性物質分析・研究施設第2棟について実施計画の変更認可申請の一部補正(2021年1月8日付)に関する説明資料作成時に、「添付資料12 第2棟の臨界管理に関する検討書」に記載した燃料デブリの解析結果の説明のための数値(プルトニウム濃度、プルトニウムと水の混合物の直径)に誤りがあることを確認。 誤記のあった数値は解析に用いている数値ではないため、臨界にならないプルトニウムの重量の解析および解析結果に誤りはない。 原因は、プルトニウム濃度、プルトニウムと水の混合物の直径について、表計算ソフトによる算出の際、金属燃料密度×プルトニウム含有率を使用しなければならないところ、誤って金属燃料密度をそのまま使用したためと判明。 今後、一部補正の誤りを修正し、再申請予定および、再発防止策を検討。</p> <p>※JAEA: 日本原子力研究開発機構</p>	G II	1月15日
2	<p>【使用済みスミア紙等可燃物保管時の管理不備について】 原子力保安検査官より、発電所構内企業棟近傍にある倉庫内に仮置きしている袋詰めした使用済みスミア紙等の保管状況について、可燃物管理の不備(不燃シートによる養生がなされていない、消火器が設置されていない)を指摘された。 不燃シートによる養生および消火器の設置を実施済み。 今後、原因を究明するとともに再発防止対策を検討。</p>	G III	1月14日
3	<p>【電気絶縁油貯蔵タンク(No. 5)油面計のガラス管の割れについて】 協力企業作業員が電気絶縁油貯蔵タンク(No.5)の点検のため、タンクの油面計を取り外したところ、油面計のガラス管に割れを確認。 当該タンクの電気絶縁油は、点検開始前に他の電気絶縁油貯蔵タンクへ移送しており、移送前後に漏えいはない。 今後、油面計のガラス管を交換予定。</p>	G III	1月15日